



はりまが Vol.4

Hari Maga



中播磨地域夢会議	P.1
新・中播磨地域ビジョン（修正・見直し案）	P.3
中播磨地域力 map	P.5

新しい地域ビジョンの実現に向けて

中播磨地域夢会議を開催

平成23年2月6日(日)、“中播磨地域夢会議”を開催。総合テーマを、『新しい地域ビジョンの実現に向けて』とし、第1部では、赤鹿委員長による中播磨地域ビジョンの修正・見直し案の概要説明、および実現方策抽出に向けてのプレゼンテーション、そして兵庫県立大学学生による地域ビジョン実現を目指す“若い力”が取り組んでいる事例の紹介が行われました。また、第2部では約90名の参加者が4つの個別テーマに分かれ、ワークショップを実施し、第3部からは知事を交え全体討議を行い、様々な提案が行われました。



【井戸知事のコメント】

各グループからの発表を聞いて、4つの要因を見つけました。一つは主体性とグループ、それから一つは行動力、一つは情報の共有、もう一つは好奇心、ということです。

まず、昨年の国勢調査で、兵庫県の人口が調査開始以来、初めて減りました。今はまだ詳細なデータはわかりませんが、3ヶ月以上海外に行く人などはカウントしないので、もしかすると海外に出ていく人が増えた結果、人口が減ったのではないかと考えられます。それはそれで、兵庫の力を示すことになると思います。

また今回の国勢調査では、60歳以上の高齢者が約7千人増えていたことも明らかになりました。これからの地域の活動を考えていくときに、この高齢者のパワーをどう活用していくかが、非常に大きなポイントだと思います。

先ほど、自治会、婦人会や地域で活躍されている様々なグループを一つにして、地域の力を出さなければいけない、というご意見がたくさん出ていましたが、まさしくその通りだと思うんですね。そのためには、ご指摘のありました通り、統一的な活動の場が必要になってくる。場所じゃなくて、場があるんです。プラットフォームのように皆が集まって議論ができる場がある。ぜひ、そういう場づくりをお願いしたいと思います。ふれあい喫茶でもいいんです。ふれあい居酒屋なんかがあるととってもいいですね。



それから、雪彦山の話がありましたが、いい山なんです、なかなか知られていない。銀の馬車道も、初めはあまり知られていませんでしたが、何度も何度もアピールすることにより今やだいぶ定着してきました。そういう繰り返すと、何かテーマ性というものが大事だと思います。

以前、子どもたちを兵庫県のいろんなところへ連れて行って、実体験をさせながら科学的な事象を学ばせるサイエンスツアーというのがありました。同様に、地域の資源を発見するという点で、地域発見ツアーというのをやっていただけたら、いろんな場面、いろんな地域資源を発見できるのではないかと思います。まち歩きだけでも楽しいんですが、歴史や文化を案内してもらえると、ものすごく喜ばれます。しかし、そのためには地域の方々が地域のことをしっかりと知る必要がある。自分の生まれた地域のことを知らないままでは、そこは“ふるさと”ではないと思います。自分の生まれた地域がどういうところなのかということ、ぜひこれから地域の将来を担う子どもたちに知ってもらいたい。そのためにも地域を語る活動を、皆さんのご協力のもと、更に深められれば良いかと、思っております。





中播磨つばやきの木

第2部のテーマ別意見交換会では、各テーマを実現するために“みんなでやれること”“ひとりでできること”を参加者の皆さんからそれぞれ意見を出してもらい、『中播磨つばやきの木』を作成しました。

テーマ1 希望が育つ中播磨

子どもが元気に育つ、つながり
のある地域をつくらう

ひとりでできること

- ・子どもたちを見たら、自分からあいさつをする
- ・地域の語り部になり、地域について語る
- ・祭りや盆踊りなど、地域の活動に積極的に参加する

みんなでやれること

- ・学童保育が終わったあとの子ども預かりサービスを地域で実施
- ・子どもが集い、学べる寺子屋活動を活性化
- ・子どもたちと共に行ける里山整備などの地域活性イベントを実施



テーマ2 安心安全中播磨

みんなが安心して暮らせる
地域をつくらう

みんなでやれること

- ・地域ごとに、“私はこれができる”人材バンクをつくる
- ・ご近所同士で、安否確認ネットワークづくり
- ・地域の危険な場所を調査し、マップを作成する



ひとりでできること

- ・夜間、各家庭での屋外灯の点灯による防犯運動の実施
- ・自分の健康は自分で守るため、体を動かすことを習慣づける
- ・障がい者福祉施設の授産品を購入し、活動を支援する

テーマ3 自然豊かな中播磨

自然環境の営みを大切にする
地域をつくらう

みんなでやれること

- ・地産地消のネットワークシステムの整備
- ・姫路の湾岸を整備し、観光資源として活用する
- ・放棄田を有効活用する（農業をしたい人に貸し出すなど）



ひとりでできること

- ・自動車の利用を減らし、できるだけ公共交通機関や自転車を利用する
- ・エコバッグ、マイ箸、マイカップ運動を広めていく
- ・エコキャップを集める



テーマ4 元気交流中播磨

にぎわいと交流の元気な地域
をつくらう

みんなでやれること

- ・銀の馬車道通貨をつくり、銀の馬車道関連商品販売促進の仕組みをつくる
- ・中播磨と同じ要素の資源を持つ地域と連携した広域観光プロデュース
- ・観光地ポイント制、“姫路の達人”資格制度の導入



ひとりでできること

- ・地元特産物を使った新しい料理レシピを開発する
- ・口コミやウェブを利用し、地域の外へ中播磨の魅力を情報発信していく（地元民ならではの観光スポットや観光ルートを提案する）



中播磨地域ビジョン（修正・見直し案）

～中播磨地域の将来像と実現に向けて～

平成13年2月、県民主役・地域主導のもと、中播磨地域の将来の夢や、目指すべき目標像を描いた「中播磨地域ビジョン」がいくつあるため、第5期中播磨地域ビジョン委員会では、幅広い県民の皆さんからご意見を伺いながら、地域の“夢”や今後めざすべくこのたび、平成23年2月6日に開催した“中播磨地域夢会議”での貴重なご意見を反映させ、下記の通り、“中播磨地域ビジ

中播磨地域ビジョン策定後の時代潮流と地域の変化

1. 予想を上回る人口減少社会の到来

少子高齢化の影響により、年少人口割合、労働人口割合は著しく減少し、老年人口割合は大幅に増加。ビジョン策定時までは微増していた地域全体の総人口も減少に転じ、ビジョン策定から30年後の2030年には地域全体で約10%程度の人口が減少する見込み。

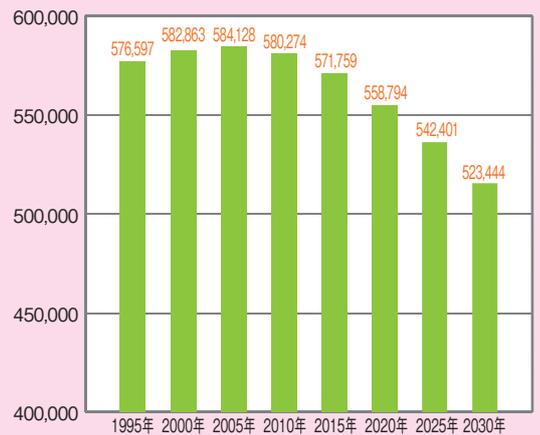
2. 県民局の再編・市町合併などに伴う地域構造の変化

県民局の再編により、旧西播磨県民局の所管であった地域が、2つの県民局に分かれた。また、市町合併により、中播磨管内は1市8町が1市3町に。

→中播磨地域は南北に長く広がる地域となり、南北間ネットワークの重要性がクローズアップ

3. 中播磨地域の変化

時代潮流の変化に伴い、地域の結びつきが弱まっている一方で、銀の馬車道プロジェクトの展開や、地域特性を活かしたイベントの実施など、地域の魅力(地域力)が見直されてきている。



上記2点と、県民の皆さんからのご意見をふまえて

中播磨地域ビジョン 4つの夢と16の目標

基本方針



銀の馬車道で
つながる
元気な中播磨

人の輪

子どもが元気に育つ、
つながりのある地域を
つくりよう

希望が育つ中播磨

地域全体で子育てを支援し、子どもが健やかに育つ社会を
温かい心や思いやり、ふるさとに誇りを持てる子どもを
ボランティアの輪が広がる、温かいコミュニティをつ
夢を持ち、生きがいを求めることができる社会をめざす

みんなが安心して暮ら
せる地域をつくりよう

安心安全中播磨

高齢者がいきいきと暮らせる地域をつくりよう
障がいのある人が生きがいを持って暮らせる地域をつ
安心な医療ネットワークが構築され、一人ひとりが健康
みんなで防災・防犯・交通安全に取り組む地域をめざす

地域の輪

自然環境の営みを大切
にする地域をつくりよう

自然豊かな中播磨

地球環境を守るライフスタイルをめざそう
モノが大切にされる「循環型社会」をめざそう
山・川・海のネットワークを大切にする地域をめざそう
自然を生かした農林水産業と活力ある農山漁村をつ

にぎわいと交流の元気
な地域をつくりよう

元気交流中播磨

地域資源を活かし、地域間交流や国際交流を進めよう
祭などの伝統的な文化とともに、新しい中播磨の魅力
個性と賑わいのある快適なまちづくりをすすめよう
がんばる企業や起業家を応援し、元気な産業を育成し

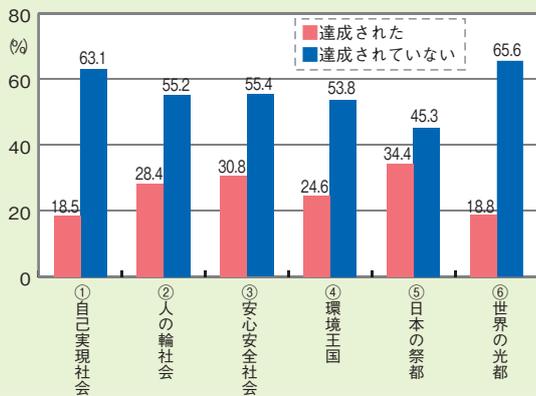


策定されました。それから、約10年がたち、人口減少化社会への本格突入などの時代潮流の変化など(下記参照)に対応してき地域像について、「中播磨地域ビジョン」の点検・見直し作業を進めてきました。この修正・見直し案を作成しましたのでご紹介します。

中播磨地域ビジョンの推進状況

地域ビジョンの“6つの夢”の進捗状況

ビジョンの達成状況について、アンケートを実施。いずれの“夢”も「達成されている」が「達成されていない」を大きく下回る。



地域ビジョンの“6つの夢”に向けた取り組みが今後も必要であると感じている人の割合

左記で、地域ビジョンの“6つの夢”が「達成されていない」と感じている人たちも、現在不十分な部分の取り組みは今後とも将来にわたって重要であると考えており、引き続き現行の地域ビジョン実現に向けた取り組みを進めていく必要がある。



(修正・見直し案)

ビジョンの実現に向けた具体的アクション



会をつくらう
が育つ地域をめざそう
くろう
そう

くろう
康づくりをすすめる地域をめざそう
う

るう

を発掘・発信しよう
よう

- あいさつを通じて、地域みんなが顔の見える関係を築く
- 姫路城などの文化遺産や地域の歴史を伝える活動を展開する
- 地域住民みんなが交流できる場をつくる
- 誰もがいつでも学ぶことができる環境をつくる
- 人材バンクをつくり、世代を超えたつながりをつくる
- 地域マップとネットワークをつくり、安全情報を共有する
- みんなの健康と安全を守る
- 互いに助け合う地域づくりを促進する
- 山川海などの地域の自然を守る活動の促進
- 地域の環境ネットワークを構築する
- 眠っている自然や遺産を発掘・リニューアルする
- 食による地域資源の有効活用
- 個人・家族・地域単位でのつながりを深める
- あらたな地域資源の発掘!
- 誘客プロジェクトの展開
- 銀の馬車道事業を盛り上げ、観光客を増やす

中播磨地域力

地域資源の発掘・発信

中播磨地域力map

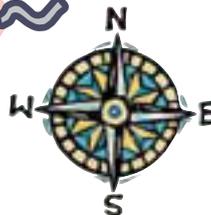
現在、中播磨地域ビジョン委員会では、中播磨地域の強み(魅力)が一目でわかる“中播磨地域力map”を作成中です。下記マップは、平成23年2月現在のものです。今後、皆さんからのご意見をもとに、どんどん進化させていく予定です。



①銀の馬車道

“日本初の高速産業道路”といわれる「銀の馬車道」は、中播磨地域を南北に縦断し、現在でも中播磨地域のシンボルプロジェクトとして、様々な沿線イベントが多数行われ、人と人、モノとモノをつなぐ大きな役割を果たしています。

~ ver.0 ~



②豊かな自然

中播磨地域には、多くの豊かな自然があります。中でも、神河町の砥峰高原は日本有数のスキの群生地であり、峰山高原リラクシアの森とともに、平成22年12月に公開された映画「ノルウェイの森」のロケ地となりました。

神河町

銀の場車道

⑦偉人

この中播磨で、日本民俗学者の柳田國男(福岡町)、詩人の有本芳水(姫路市)、哲学者の和辻哲郎(姫路市)など様々な分野で名を残した偉人たちが生まれ育ちました。福岡町には、柳田國男の生家が今も残っています。

③B級グルメ

今や全国区となった「姫路おでん」や全国ネットのテレビで取り上げられた「アーモンドトースト」のほか、福岡町特産「もちむぎ麺」など、中播磨には隠れたB級グルメがいっぱい！平成23年11月には、姫路市で「B-1グランプリ」が開催されます。

市川町

⑧産業

神河町では、町域の大半を占める山林を利用した農林業が発達し、市川町はゴルフクラブ発祥の地といわれています。福岡町では特産のもちむぎを活かした産業が盛んです。そして姫路市の皮革や鎖などは全国トップレベルの生産量を誇ります。

福岡町

④姫路城

築城以来400年の歴史の中で、一度も戦にまみえることなく、平成5年、日本で初めて世界文化遺産に登録された国宝・姫路城。平成21年秋から、平成の大修理が行われており、平成23年3月からは、見学施設において、伝統の技による修理の様子を見ることが出来ます。

姫路市

⑨古刹・城跡

「西の比叡山」と呼ばれる書山園教寺や、龜山御坊本徳寺、そして140ヶ所を越える城跡など、中播磨には歴史の重みを感じさせる名所が数多く存在します。赤松氏城跡である置塩城跡は、山城としては大変珍しい庭園遺構と大規模な建物跡などから、その権威・文化レベルの高さが大変注目を集めています。

⑤地場特産物

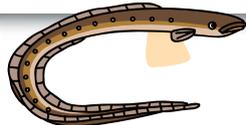
中播磨地域には、おいしい食材がいっぱいあります。神河町のゆず、姫路市太市のたけのこ、姫路市大津区のれんこん、播磨灘のあなごをはじめとする魚介類など。それらを使ったふるさと料理のレシピを集めた「播磨ふるさとの美味しいもの100選」が平成19年に出版されました。

⑥祭り

中播磨地域は、お祭りが盛んなことでも有名です。なかでも、毎年約15万人もの観衆が、その豪快さと迫力に酔いしれる“灘のけんか祭り”は、兵庫県を代表する祭りとして、海外にまでその名を知られるようになりました。

⑩特産品

明珍火番、白なめし革細工、姫路はりこ、地酒、かまぼこ、かりんとうなど、中播磨地域には地域色豊かな特産品が多数あります。そのひとつひとつに中播磨の人たちの心がこもった、伝統ある特産品は観光客にも大人気です。

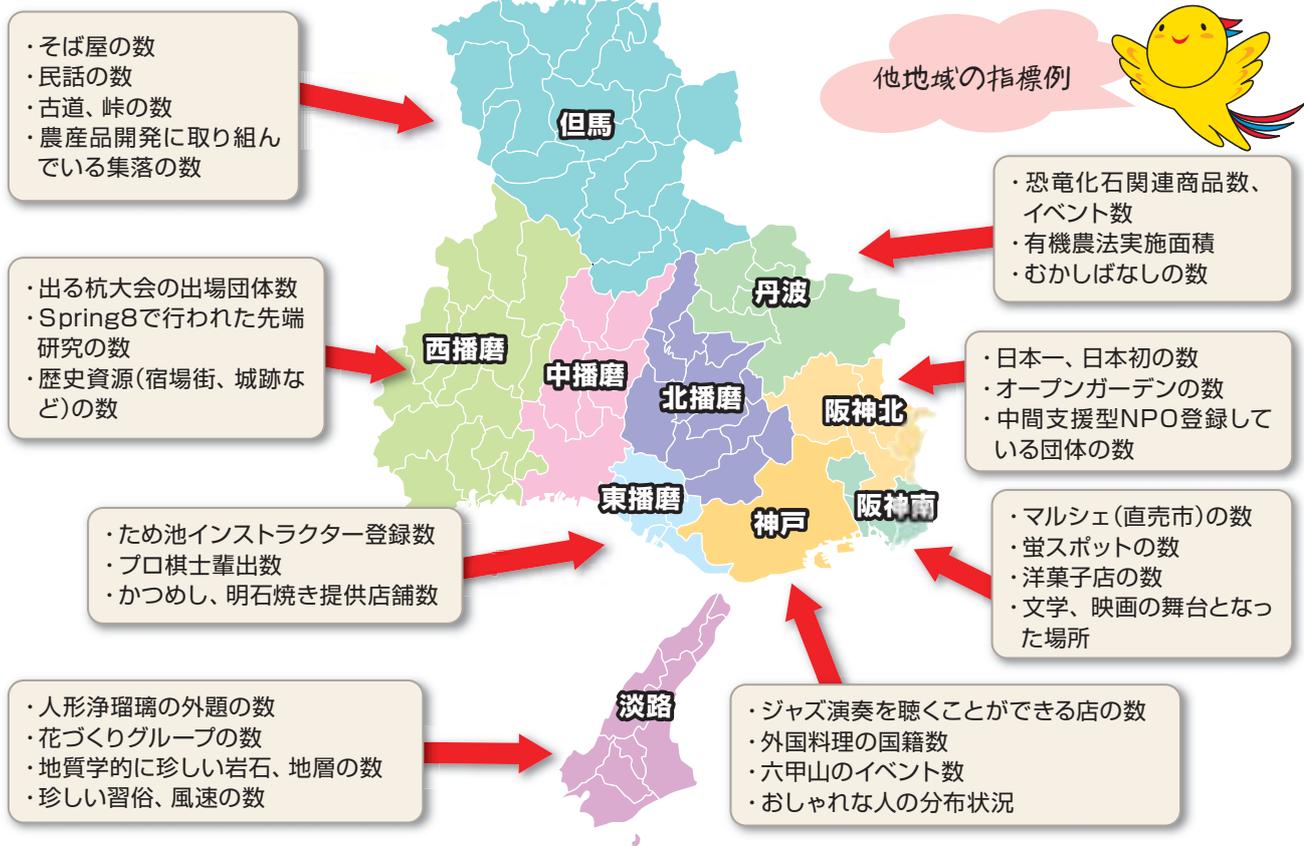




地域力とは？

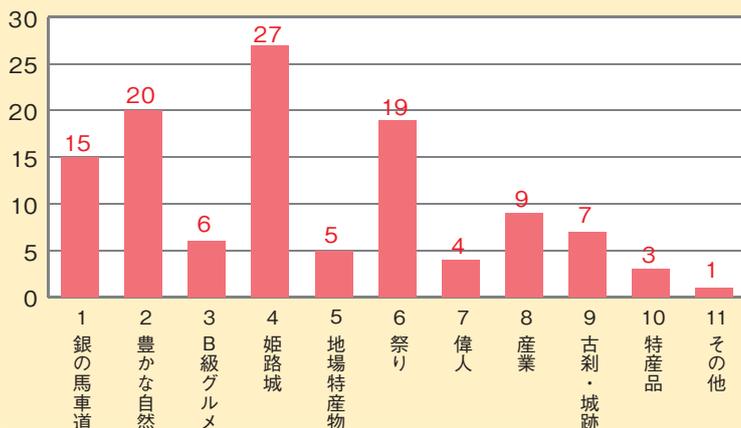
地域の各地に潜在する地域の強み（魅力）のこと。地域力を発掘することにより、地域資源の再発見・保全や地域資源を活かした新たな活動につなげていきます。

兵庫県では現在、全県で地域力の発掘を行っており、県民局ごとに各地域の地域力をわかりやすく数値で表した指標を作成中です。中播磨地域でも、左記の地域力や皆さんからのアイデアをもとに、指標とする項目を決め、その項目それぞれを数え上げ、“見える化”し、地域の特性をよりわかりやすいものとし、今後発信していく予定です。

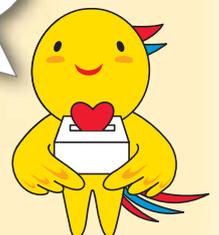


みんなが選ぶ！ 中播磨地域力

平成23年2月6日(日)“中播磨地域夢会議”会場で、参加者の皆さんに、左記の中播磨地域力mapの中から、特に中播磨の強み(魅力)だと思ふものに投票してもらいました。



まだまだ皆さんのご意見を募集しています!!
『中播磨の地域力』についてみんなで考えていきましょう。



中播磨地域ビジョン委員会 1・2月の主な活動

子育て支援、地域で大きく育てよう!!グループ

1月12日(水)姫路市南大津公民館で、出前子育て支援活動を実施しました。若い母親たちと子どもたちに、主人公が周りに待ち望まれて誕生したというストーリーの寸劇を披露したり、子育てについての悩み相談と地域の保育環境についての情報交換を行いました。



中播磨の高齢者健康づくりグループ

今年度、第3回目の体力測定会を1月23日(日)姫路市御国野校区で実施。真冬の寒い日でしたが、たくさんの方が参加され、改めて高齢者の健康への関心の高さを感じました。この体力測定結果をもとに、更なる健康づくりに励んでいただきたいと思います。



歴史街道「銀の馬車道」でつなぐ人と文化グループ

「銀の馬車道」の起点である朝来市生野町は、北へ延びる「鉱石の道」の起点でもありました。その「鉱石の道」を辿りながら、昭和の時代があふれる生野の街並みを探訪するバスツアーを2月20日(日)に開催しました。生野では当時の状態に復元された鉱山社宅を訪れ、社宅の一角にある当地出身の俳優「志村喬記念館」を見学。その後、明延鉱山へ行き、昭和62年の閉山まで日本のスズの90%を産出してきた操業当時の鉱山の姿を知ることができる貴重な坑道を、ガイドさんに案内してもらいながら探索しました。



「山・川・海」子どものための水のネットワークづくりグループ

2月27日(日)香寺健康福祉センターで、フォーラム“子どものための水のネットワークづくり～山川海とめぐるいのち～”を開催しました。基調講演に、京都大学名誉教授・農学博士である田中 克(たなか まさる)氏を迎え、「海の命の営み一魚の赤ちゃんの命をかけた大冒険」についてお話いただきました。また、姫路市香呂小学校3・4年生による発表「ふれてみよう、感じてみよう命」や、当グループによる第5期の活動報告などを行いました。多くの小学生の皆さんをはじめとする200人以上の方々に参加していただき、改めて、山・川・海のつながりについて深く考えまた生命のつながりについてもみんなで考える良い機会となりました。



Hari Maga グルメコーナー

レシピ提供：三村晴美

蓮根のモチモチ感と穴子が絶妙!

蓮根餅の穴子巻き



材料(2人前)

- ・煮穴子 …… 2匹(大)
- ・蓮根 …… 約200グラム
- ・ネギ …… 適量
- ・片栗粉 …… 大さじ2
- ・卵黄 …… 1個
- ・めんつゆ …… 大さじ2
- ・調味料
(醤油・みりん・酒)
…………… 各大さじ1



作り方

1. 蓮根をすりおろし、ネギ・片栗粉・卵黄・めんつゆを混ぜ合わせ、4等分する。
2. 半分にした煮穴子に片栗粉をまぶし、蓮根たねを巻く。
3. 電子レンジ600Wで約3分加熱する。
4. 調味料を加熱し、たねに絡めてできあがり。

中播磨イベント情報(4月~6月)



第1回 近畿・中国・四国
B-1グランプリ
in HIMEJI

近畿・中国・四国
支部大会
開催決定!!

開催日：平成23年5月21日(土)
5月22日(日)

会場：大手前公園など

平成23年11月12日(土)13日(日)に行われる第6回B-1グランプリinHIMEJIの支部大会として、第1回近畿・中国・四国B-1グランプリを開催いたします。姫路・兵庫の「うまいもん」を堪能できる「はりまご当地グルメフェスタ」も同時開催!

情報誌に対するご意見
ご感想などのご連絡先

中播磨地域ビジョン委員会事務局

〒670-0947 姫路市北条1-98

兵庫県 中播磨県民局 総務室 地域ビジョン担当

電話 (079) 281-9053 FAX (079) 285-1102

メール nkharimasom@pref.hyogo.lg.jp